

【情報公開文書】

秋田市周辺医療圏における Emergent Large Vessel Occlusion Screen を用いた患者選定の有効性の検討に関する研究

1. 研究の対象

2021年12月1日から2022年11月31日までの間に脳卒中の疑いで救急要請し、救急隊がELVO screenで判定し秋田大学医学部附属病院、秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田赤十字病院へ搬送された方。

2. 研究目的・方法

急性期脳梗塞、特に脳主幹動脈閉塞症の治療成績は近年、血栓溶解療法および機械的血栓回収療法により劇的に改善しています。どちらの治療も発症から早期に行うほど、治療成績が良いと報告されており、可能な限り早く治療可能な医療機関へ救急搬送することが求められます。そのためには救急隊が到着したときに、主幹動脈閉塞を見逃さないことが重要です。現在、秋田市周辺医療圏では脳卒中が疑われる傷病者を対象に主幹動脈閉塞の予測スケールであるELVOスクリーンを用いて当番病院へ搬送する輪番制を運用しています。

今回の研究では、輪番制の運用開始以降の治療成績を検証し、治療成績の向上につながったかや、制度の改善点がないかを検証します。

研究実施期間：研究実施許可日～2023年12月31日

提供を開始する予定日：2023年12月4日以降、1ヶ月以内

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、ELVO screen陽性項目、陽性個数、最終診断、主幹動脈閉塞の有無、血行再建療法（tPAおよび機械的血栓回収療法）の有無、最終診断、病院前の収縮期、拡張期血圧 等

4. 外部への試料・情報の提供

研究代表機関である秋田県立循環器・脳脊髄センターに当院での登録症例の情報を提供し、秋田県立循環器・脳脊髄センター内でデータを管理します。情報提供の際は暗号キー付の電子メールで送信します。患者データは対応表を作成し、研究責任者が保管、管理します。

5. 研究組織

秋田県立循環器・脳脊髄センター 第一脳神経外科診療部 部長 師井純太、高橋佑介
秋田大学大学院医学系研究科 脳神経外科学講座 教授 清水宏明
秋田赤十字病院 第一脳神経外科 部長 丸屋淳
秋田市消防本部 救急課 主査 高橋伸一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：清水宏明

連絡担当者：清水宏明

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

秋田大学医学部附属病院 脳神経外科

Tel: 018-884-6140 Fax: 018-836-2616

e-mail : nogeka@med.akita-u.ac.jp

研究代表機関

秋田県立循環器・脳脊髄センター

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町 6 番 10 号

研究代表者：脳神経外科 高橋佑介

連絡先：018-833-0115 (代表)

メールアドレス：yuusuke@med.akita-u.ac.jp

-----以上